

まぐらおんど 万倉音頭

作詞 伊藤 勇
作曲 山本 達八
編曲 山本 達八
振付 榊原 麻里
歌 頼田 友梨



一 まぐらすみたや 花咲く里は

つつじ咲くとこ 恋も咲く

なす はな

茄子の花にも 福がなり

あき こがね

秋は黄金の 秋は黄金の

なみ

波がしら 波がしら

なみ

二 まぐらすみたや 文化の里は

あかますずり

赤間硯に 知恵みがく

いわと かぐら

岩戸神楽に

ふく ま

福が舞い

くにしなの

国司信濃の 国司信濃の

おとこい き

男意気 男意気

三 まぐらすみたや いついつまでも

す みやこ

住めば都の ふるさとは

なさ ぶか

情け深さに ほだされて

お

老いも若きも

お

老いも若きも

え

恵比寿顔

え

恵比須顔

